

○議長（茅沼隆文）

次に、日程第4 議案第46号 平成29年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

予算書の説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（亀井知之）

議案第46号 平成29年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）。

平成29年度開成町の介護保険事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。第1条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,308万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ11億2,005万円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成29年12月5日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、1ページお開きください。

第1表、歳入歳出予算補正、上段、歳入につきましては、3款国庫支出金から7款繰入金までで、補正額、2,308万2,000円、計で11億2,005万円でございます。

下段に移りまして、歳出でございますが、1款の総務費から7款の予備費までで、補正額同じく2,308万2,000円、計が11億2,005万円となります。

今回の補正の内容ですが、歳出側で各種サービス給付等で当初見込みよりも増加したことによる保険給付費等の増に対応した増額補正。歳入側はそれに伴いまして、国庫金、県支出金、支払基金からの交付金の増額補正となっております。

それでは、8ページ、9ページをご覧ください。

2、歳入でございます。3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金、説明欄1、現年度分介護給付費負担金でございます。歳出側の給付の増に伴う国からの介護給付費の負担金となります。こちら20%でございます。

次、2項国庫補助金、2目地域支援事業費交付金、（介護予防・日常生活支援総合事業）。こちらは国からの地域支援事業分の交付金25%分となっております。

次の4目介護保険事業費負担金は、介護報酬改定等に伴います、システム改修事業費に対して、国からの補助金が出るものでございます。補助率は2分の1となります。

次に、4項、支払基金交付金、1項支払金交付金、1目介護給付費交付金、現年度分介護給付費交付金でございますが、こちらも歳出側の増額に伴う支払基金からの交付金で28%となります。

次の2目地域支援事業費支援交付金を地域支援重要費に対する支払い転換の交付金、こちら28%となっております。

次に、5款県支出金、1項県負担金、1目介護給付費負担金、現年度分介護給付費

負担金、こちらも歳出側の増に伴う県からの負担金、12.5%を計上しております。

次の2目地域支援事業交付金、介護予防・日常生活支援総合事業、こちらも地域支援事業費に対します、県の交付金で12.5%を見込んでございます。

次のページをご覧ください。7款繰入金、1項一般会計繰入金、1目介護給付費繰入金は、一般会計からの介護給付費の繰入金分、12.5%を計上しております。

2目その他、一般会計繰入金ですが、2節の事務費繰入金は、システム改修に係る町負担分の繰入金となっております。

3目地域支援事業費繰入金、介護予防・日常生活支援総合事業分につきましては、地域支援事業に係る町の負担金分12.5%を繰り入れるものでございます。

次のページをお開きいただき、歳出となります。

3、歳出、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、説明欄2、町村情報システム組合に支払うものでございます。改修の内容は、報酬改定に伴うもの。また、更新の認定の有効期限の上限の延長などでございますので、これらに対応する内容でございます。

次に、2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、主に居宅介護福祉用具購入費でございます。居宅介護、福祉用具の購入に伴うサービス利用の増に伴うものでございまして、9月決定分までの実績分から今後の不足分を見込み、計上をしています。

次の7目居宅介護サービス計画給付費でございますが、こちらも計画の策定に伴う教育費の増に伴うものでございます。こちらも4月審査分までの実績から、今後の不足分を見込み計上をしています。

一番下の9目地域密着型介護サービス給付費でございます。こちらはサービスの利用者の増、特に通所介護とグループホームの増に伴うものでございまして、こちらも9月の審査分までの実績から今後の不足分を見込んで計上をしているものでございます。

次のページをご覧ください。中段のところ、2項介護サービス等諸費、6目介護予防住宅改修費でございます。こちらも住宅改修に伴う利用者の増によるもので、9月の決定分までの実績から不足分を見込んで計上を行ってございます。

次の3項高額介護サービス等費、1目高額介護サービス費の給付対象者の増によるものでございます。

次のページをご覧ください。6項高額医療合算介護サービス費、1目高額医療合算介護サービス費の給付対象者の増によるものでございます。

下にいきまして、3款地域支援事業費、1項介護予防日常生活支援総合事業費、1目介護予防生活支援サービス事業費、こちらもサービスの利用者の増によるもので、9月審査分までの実績から今後の不足分を見込んで、計上をしております。

次の一般介護予防事業者は人件費でございまして省略させていただきます、次のページをご覧ください。

4款基金積立金、1項基金積立金、1目介護保険財政調整基金積立金でございまして、給付費等の増加に伴う不足分に対応するため、積立金を減額し、調整をさせてい

ただくものでございます。

7款予備費、1項予備費、1目予備費でございます。歳入と歳出の差額を予備費で対応させていただくものでございます。

御説明は以上です。よろしく御審議の程、お願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

6番、菊川議員。

○6番（菊川敬人）

6番、菊川です。

ちょっと教えていただきたいことは、16ページ、17ページのところで、3款の地域支援事業費の説明欄の1、介護予防・生活支援サービス事業なんですけど、先程の課長説明の中では、利用者は増えているということの説明をいただきました。訪問介護、通所介護は、地域支援事業に移行したということもありますが、当初予算で107万円で進められてきて、ここで30万円の補正ということでもあります。

増えてきた内訳なんですけど、平成28年度をちょっと調べてみますと、平成27年度と比較して、要支援の1、2のところが増えて、あとは要介護1に若干増えていたけれど、あと3、4についても、逆に減っている状況が平成28年度にはあったと思います。

今年度において、ケアマネジメント事務負担、事業費負担が30万円ということでは計上されていますが、要支援者の区分で、要支援1、2、あるいは要介護1、2、こういったところのどこの部分が増えてきているのか。どこか、前年度の結果から見れば、減っているところがありましたので、相対的に増えているということなのか、部分的に支援が必要な区分で増えているのか。そのところ、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

保険健康課長。

○保険健康課長（亀井知之）

お答えいたします。

議員がおっしゃるように、ケアマネジメントにつきましては、いわゆる計画策定ですけれども、要支援の要介護度もあるわけでございますが、分析してみますと、平成26年度、平成27年度、平成28年度と比較をしまして、要介護分につきましては、あまり変化はないということで、平成28年度が下がっているということがありましたけれども、平成26年度から平成27年度が上がっているのですが、平成28年度は下がっているという状況でございました。だから、増えておりますのは、要支援1、2対象の介護予防のケアマネジメントの部分でございまして、こちらは対象者が増えているということもありますが、伸びている状況にあるというのが事実でございます。

平成29年度の状況を見ますと、やはり昨年、平成28年度の月平均が、ケアマネジメントで、大体月に6万円程だったのですが、平成29年度の月平均で見ますと、

9月の審査分までですが、その大体倍の11万4,000円となっております。伸び率としては、平成28年度、平成29年度で、1.87倍ということになっておりまして、このままでは予算が足りないということで、今後の見込みとしては、平成29年度の月平均を今後の見込み6カ月分を加えまして、差額分を計上したと、そういう状況でございます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑ないようですので、質疑を終了して、討論に入りますが、討論のほうはありますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決を行います。

議案第46号 平成29年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

起立全員によって、可決いたしました。